

広報委員会
(第24期 第1回)
議 事 要 旨

1. 日 時 平成29年12月13日(水) 13:00～15:00
2. 場 所 日本学術会議 5階 5-A(1) 会議室
3. 出席者 伊藤委員、多久和委員、荒川委員、大倉委員、松宮委員、
渡辺美代子委員、渡辺芳人委員(スカイプ)、岩崎渉委員、隠岐
さや香委員(スカイプ)、嶋田委員、辻委員、橋田委員、山川委
員、三成会員

4. 配布資料

- 資料1 広報委員会名簿
- 資料2 広報委員会運営要綱
- 資料3-1 広報委員会の役割と構成(案) ※渡辺副会長提出資料
- 資料3-2 広報委員会運営要綱の改正新旧(案)
- 資料3-3 「学術の動向」分科会設置提案書(案)
- 資料3-4 ホームページ編集分科会について ※三成副会長提出資料
- 資料3-5 ホームページ編集分科会設置提案書(案)
- 資料4-1 日本学術会議第24期パンフレット構成案
- 資料4-2 第23期パンフレット

参考1 広報委員会 平成28・29年度年次報告

参考2 「学術の動向」のリニューアルについて(23期からの引継ぎ資料)

5. 議 事

(1) 役員の選出について

- ・委員長の互選を行い、渡辺美代子委員を選出した。
- ・(今後の運営等についての決定後) 渡辺委員長が副委員長として町村委員(第一部)、幹事として多久和委員(第二部)、大倉委員(第三部)、を指名し承認された。
(町村副委員長が国際発信推進分科会担当、大倉幹事が「学術の動向」編集分科会担当、多久和委員がホームページ編集分科会担当)

(2) 広報委員会の今後の運営について

- ・資料3-1をもとに渡辺委員長から以下の通り説明があり、分科会の設置について提案があった。
- ・広報委員会が「学術の動向」編集委員会とほぼ一体であったが、「学術の動向」の編集以外に、ホームページのコンテンツの充実や国際的な情報発信が必要であるとされ、委員会の下に以下の3分科会を設置することについて、12月22日の幹事会に提案することとされた。

①「学術の動向」編集分科会

②ホームページ編集分科会

③国際発信推進分科会

・部のバランスや人数等を考慮しながら、原則としては委員の希望により各分科会へ所属することとされた。(ただし、渡辺委員長は分科会には所属せず、委員長として各分科会を広く総括する観点から、分科会へは所属しないこととされた。)

・委員会内の各部のバランスを鑑み、広報委員会委員に二部から会員又は連携会員を2名追加することとし、第二部長へ推薦依頼を行うこととした。

・各分科会の委員の決定及び第二部からの委員追加については、12月22日の幹事会に提案することとした。

・分科会設置に関する議論の中での委員からの意見は以下の通り。

・国際的な情報発信は非常に重要だが、翻訳等の予算的な措置が必要。今期は何ができるのか何をすべきなのかという形をつくり、再来年度の予算要求に向けて検討してはどうか。

・これまでの大学の英語のホームページ等は、日本語を可能な限り英語にする、日本語版のコピーだったが、日本で学術会議のホームページを見るオーディエンスと、海外でみるオーディエンスは違う。海外用は海外の研究者、興味がある学生、メディアをターゲットとして、海外に向けて発信したいという内容を絞り込んだほうがよい。

・(ホームページについて) 見る人が分かりやすいものにする。例えば提言は現状「年」・「期」でしか分かれていないが、テーマ別に再編する。見やすいところにボタンをつくる。子ども用のページが2005年から変わっていないので、新しくしてはどうか。

(3) 日本学術会議第24期パンフレットの構成について

・事務局から第24期パンフレット構成案について説明し、了承された。委員からは以下の意見があり、内容に反映を検討することとされた。

・女性の会員、連携会員が増えているので、学術会議の姿勢として、女性会員・連携会員の割合を明記したほうがよい。

・学術会議の印刷物全般に言えることだが、ロゴマークの解像度が悪い。ビットマップデータを使っていると思うが線が明瞭に表示されていないので、アウトライン化してジャギーが出ないようにベクターデータを使用するように改善してほしい。

(4) その他

○広報委員会からの今後の課題等について自由討議が行われ、以下の意見があった。

- ・若い人への情報発信として SNS をもっと活用してはどうか。
- ・幹事会だよりのホームページへの公開を検討してはどうか。(ホームページのコンテンツも豊富化する。会長が毎月書いているのだからもったいない。)